

5 4-3 6 4-6 7 17:30 横浜 9 18:00 ナゴヤD 10 18:00 ナゴヤD 11 15:00 ナゴヤD 12 18:00 京セラD 13 18:00 京セラD 14 18:00 京セラD

# 守道さんを超えた!! 史上最多

◆中日の歴代盗塁数上位◆

順位	選手	盗塁数
①	荒木 雅博	370
②	高木 守道	369
③	中 晝生	347
④	原田 督三	203
⑤	国枝 利通	192
⑥	本 岡枝	170
⑦	多 嶋博	150
⑧	平 野謙	150
⑨	井 端弘	146
⑩	立 浪和	135
⑪	大 井洋	131
⑫	井 上登	128
⑬	杉 山悟	101
⑭	牧 野茂	98
⑮	石 田政	88

# 370

# 盗塁 2試合連続猛打賞 気



**成功率100%**  
DeNA 6-4 中日

370。それはいつと、すぐにトップスピードに特攻、変化はない。す

もと変わらぬ光景だ。ドに乗り、低く、そして。5回無死一塁。1ホ強、滑り込む。通算盗塁112ストライクからの球団新記録達成の瞬間。4球目、スタートを切る。功はない。10/10。今季の盗塁成功率は依然と

「この球団で1位にされたことはうれし。監督がサインを出してくれました。背中を押してもらった感じです」

スタートを切る以上は、絶対にアウトにならな

して100%をマークしている。この3年間で成功36に、失敗はわずか2。「技術はまだまだ上っている。相手が投げた球種や間合いをうまく判断し、最後は「勇気」をもって決行してきた。

**城島が褒め自信**

1/37。試合を問われ「終わったばかりなので、きまってる」とつぶやいた。胸に秘める1つがある。プロ10年目の5月13日のタイエー

## ◆歴代盗塁数上位◆

順位	選手	所属	盗塁	試合	実績
①	本 壘	阪急	1065	2401	20
②	福 田	南海	596	2190	22
③	坂 本	巨人	579	2208	20
④	高 橋	近鉄	479	1238	17
⑤	金 大	阪神	477	1722	14
⑥	山 石	近鉄	456	1366	17
⑦	大 徳	国鉄	415	1892	17
⑧	大 徳	国鉄	390	1965	17
⑨	星 川	阪神	381	1700	20
⑩	本 壘	阪神	381	1127	17
⑪	高 木	中日	370	1638	20
⑫	守 道	中日	370	2065	17
⑬	守 道	中日	369	2282	21

## 【注】白抜きは現役

いたと、2回2死三塁で甘い変化球を中前へ返した。大島、荒木の1、2番コンビによる連夜の先制劇に触発されたことで、「上位で得点できるのはいい形だと思っとうなすが、試合後は険しい表情だった。10試合ぶり適時打

「これはプロとしてやっつていきたよ。そっちもプロだと思ってるんだから」。7月のあるナゴヤドームの練習日。荒木は明らかに怒っていた。

セ・ワーストとなる47打席連続無安打に終止符が打たれた直後だった。「連続打席無安打の記録ってこのへんなの。尋ねられたこの質問に即答できなかった。リーグの記録集は載っているが、打数はない。記録には調べられるもの。そういうものがある。

**教えられたプロの姿勢**

「恐らく無理だろう」。そう思った記者は、社内の記録担当に問い合わせることもしてなかった。

「調べることが難しいのは仕方ないけど、当然興味があることだし。そんなこともしないのって、おかしいぞ」。

連続打席無安打の記録の正解がいくつかは問題ではない。記者として果敢とヘストを尻へして現場に臨んでいるのか。クサッ心で突っ込んでくる。試合開始5時間以上前のナゴヤドーム。人けのない外野を汗びっしょりになりながら走っている。勝負を賭して、プロと何かを痛感させられる。(土屋善文)

DeNA 中日 5回表無死一盗塁、球団新記録となる通算370盗塁を決める荒木。(七森祐也撮影)

**2000安打へ**

この日はバットでも手一を披露した。1回無死一塁で打席に立つと、DeNAの先発・井納の127スライヤーを左翼線へライナーで運んだ。一塁走者大島がホームへかえり、自身も三塁

「この球団で1位にされたことはうれし。監督がサインを出してくれました。背中を押してもらった感じです」

スタートを切る以上は、絶対にアウトにならな

一番印象に残るものを問われ「終わったばかりなので、きまってる」とつぶやいた。胸に秘める1つがある。プロ10年目の5月13日のタイエー

「恐らく無理だろう」。そう思った記者は、社内の記録担当に問い合わせることもしてなかった。

「調べることが難しいのは仕方ないけど、当然興味があることだし。そんなこともしないのって、おかしいぞ」。

連続打席無安打の記録の正解がいくつかは問題ではない。記者として果敢とヘストを尻へして現場に臨んでいるのか。クサッ心で突っ込んでくる。試合開始5時間以上前のナゴヤドーム。人けのない外野を汗びっしょりになりながら走っている。勝負を賭して、プロと何かを痛感させられる。(土屋善文)

ドラゴンズ情報

創設 80周年 共に戦おう 日本一へ!

ドラゴンズモバポータルサイト

QRコード